

(様式2)新規評価シート

建設部 砂防課

事業名		急傾斜地崩壊対策等事業		路河川名等		西三才		
事業毎の通番		7		市町村名		長野市		
事業毎の通番		7		箇所名(ふりがな)		西三才(にしさんさい)		
事業概要	事業目的	当該箇所は土砂災害防止法の特別警戒区域であり、保全対象として崖下に、長野市道が400メートル、民家が41戸ある。保全対象ではないが、斜面上部には短大、保育園、国立長野病院があり、当該斜面の崩壊により間接的に影響が及ぶと考えられる。斜面は風化してもろくなっており、最近の大雨などにより、表層の小崩落が発生している。また、小径ではあるが転石も存在することから、大雨等により被災のおそれが高い。このため早急に対策を講じ民生の安定を図るものである。						
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	4-1 地域防災力の向上(災害に強い地域づくり)		事業実施の根拠法令等		急傾斜地法		
	関連する事業、計画等							
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	保全対象人家:41戸 公共施設:市道						
	着手年度	平成27年度	事業期間	4年	事業費(千円)	財源内訳(千円)		
	完成年度(見込み)	平成30年度	費用対効果	4.4	国庫	180,000	其他	40,000
	全体事業内容(主な工種)	法面工 L=420m		400,000	180,000	40,000	162,000	18,000
	年度事業内容(主な工種)	地質調査 1式、詳細設計 1式		15,000	6,750	1,500	6,075	675
	事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	土砂災害特別警戒区域指定の解除					
		間接的効果(定量的・定性的)						
評価の視点	必要性	○人家戸数:41戸 ○公共施設:市道古里6、7、8号線 ○災害時要援護者施設の有無:無 ○避難場所、避難路の有無:無					評価	B
	重要性	○過去の災害履歴:無 ○交通遮断による地域経済への影響:中(市道古里6、7、8号線) ○地域防災計画上の位置づけ:無					評価	B
	効率性	○費用対効果(B/C):4.41 ○事業期間:4年 ○工法等の比較検討:検討あり					評価	A
	緊急性	○斜面の高さ:平均高さ16m ○斜面平均勾配:32° ○地質:段丘堆積物 ○オーバーハング、遷急線、谷地形、凸地形:なし					評価	B
	計画熟度	○事業情報の共有:関係者以外にも周知 ○地域要望:協力的である ○地域合意:事業目的について合意形成が図られている ○住民との協働:維持管理に住民参加がある					評価	A
	部意見	保全対象に人家41戸がある。斜面は風化による浸食が進んでいる。近年は小崩落も発生しており、早期に対策を行う必要がある。		行政改革課意見		評価結果	総合評価	○ B

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)



事業概要説明図表

【整備の必要性がわかる状況写真等】



事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当該箇所は土砂災害防止法の特別警戒区域であり、保全対象として崖下に、長野市道が400メートル、民家が41戸ある。斜面は風化してもろくなっており、最近の大雨などにより、表層の小崩落が発生している。また、小径ではあるが転石も存在することから、大雨等により被災のおそれが高い。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	土砂法の指定を機に地区内の警戒区域に関する関心が高まり、斜面対策に関する要望が区よりされた。
③事業説明等の経緯	平成20年10月土砂法説明会開催。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	詳細設計時に配慮について検討の予定。
⑥地域活性化への影響と配慮	施設整備による特別警戒区域の解除により、付近の土地利用の活性化が期待される。
⑦その他	

事業代表地点の緯度経度
北緯:N 36度40分58秒
東経:E 138度14分28秒